



平成26年9月29日

各 位



会 社 名 ふらっとホーム株式会社

代表取締役社長 鈴木 友 康

(コード番号 6836 東証第二部)

問 合 せ 先 管理部長 高橋 誠二

(TEL 03-5213-4376)

M2M・IoTシステムの構築に最適な極小サイズのマイクロサーバ 「OpenBlocks IoTファミリ」の発表に関するお知らせ

当社は、マイクロサーバの新モデル「OpenBlocks IoTファミリ」を発表いたしましたので、お知らせいたします。

記

当社は、Linuxマイクロサーバのトップベンダーとして独自性の高い自社製品であるマイクロサーバ事業を推進しており、「OpenBlocksシリーズ」は累計出荷台数7万台を超すベストセラーモデルとなっております。

この度、「OpenBlocksシリーズ」に、M2MやIoTシステムの構築に最適な新モデル「OpenBlocks IoTファミリ」を加えることにより、当社は今後大幅に拡大が見込まれるIoT市場への参入を本格化するとともに、マイクロサーバ事業の中長期的な成長の実現を目指します。

製品の詳細に関しましては、添付資料をご参照ください。

なお、出荷開始時期は平成27年2月を予定しており、本件による当社の当期業績に与える影響は、軽微であります。

(注) IoT (Internet of Things : モノのインターネット)

M2M (Machine to Machine : 機器間通信)

以上

ぷらっとホーム、M2M・IoTシステムの構築に最適な 極小サイズのマイクロサーバー「OpenBlocks® IoTファミリ」を発表

～すべての「モノ」にIoTコネクティビティを提供～

2014年9月29日、マイクロサーバー大手のぷらっとホーム株式会社（証券コード：東証二部6836、本社：東京都千代田区、代表取締役社長：鈴木友康、以下ぷらっとホーム）は、IoT（Internet of Things：モノのインターネット）向けに特化した「OpenBlocks® IoTファミリ」を発表しました。

ぷらっとホームの小型Linuxマイクロサーバー「OpenBlocks®シリーズ」は大手通信事業者をはじめ、電力監視やセンサーネットワークなどのインターネット通信分野に採用され、累計出荷台数7万台の導入実績をもつ超小型コンピュータです。近年では各種センサーネットワークやM2M/IoT分野のゲートウェイ装置として多数利用されています。

この度発表した「OpenBlocks® IoTファミリ」は「OpenBlocks®シリーズ」の高い信頼性や、柔軟でパワフルなコンピュータ性能をそのままに、さらに無線や有線のインターフェースを搭載することにより、あらゆるセンサーへのコネクティビティを実現するM2M/IoTのゲートウェイとして最適な製品です。

また、既存のOpenBlocks®シリーズ製品（OpenBlocks® AX3）と比較してわずか8%の体積比を実現し、従来設置が不可能と思われていた狭小環境での利用も可能となりました。これにより、あらゆる空間でのコンピューティングパワーの利用が可能となり、IoT時代を強力に推進します。

3種類の無線を搭載し、さまざまなセンサーからの情報を収集・加工・伝送できるIoTゲートウェイ

IoT（Internet of Things：モノのインターネット）システムを実現する際、温度、気圧、電量、照度、血圧、体温など、様々なセンサーをネットワークに接続し、クラウドシステムやデータセンタなどの上位のシステムと通信を行うことが必要です。その際、異なるインターフェースやプロトコルを変換しネットワークへ接続させる為のゲートウェイが必要となります。

従来はセンサーが持つインターフェースが多岐に渡り、ひとつのゲートウェイですべてのセンサーの接続を受ける事が困難であったり、ゲートウェイそのもののサイズが大きく、設置レイアウトに頭を悩ませたり、スペックやOSの制約などにより自由なアプリケーションの実装が困難であったりと、IoTシステムを構築するうえでのゲートウェイの選定から導入には、多大な手間とコストがかかっていました。

「OpenBlocks® IoTファミリ」はこれらの問題を解決する以下の特徴を持ちます。

➤ 極小サイズフォームファクタ

わずか41.6mm（W） x 96mm（D） x 11.3mm（H）の極小サイズで、あらゆる場所・環境に設置可能です。設置レイアウトで悩むことなく導入いただけます。

【製品イメージ】

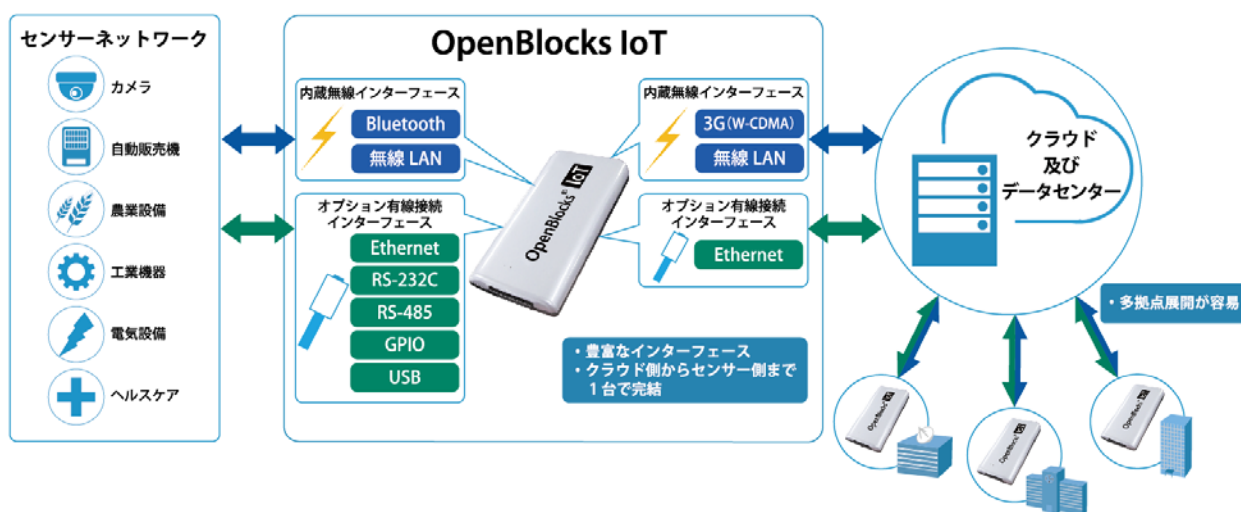


- 無線・有線の各種インターフェースを搭載
Wi-Fi や Bluetooth などの無線通信を搭載し、さらに RS-485, RS-232C, GPIO, Ethernet 等の有線インターフェースにもオプションケーブルをつなぐことで接続可能です。
- アンテナ内蔵の 3G(W-CDMA) 通信機能
極小サイズの筐体に 3G 通信機能を搭載し、さらにアンテナを内蔵しているため、面倒なケーブルリングから開放され、あらゆる場所からの上位ネットワークとの通信が可能です。
- パワフルな CPU と大容量メモリ
22nm プロセス技術に基づくインテルの SoC を搭載し、さらに 1GB の RAM、4GB の FLASH ROM が搭載され、IoT のエッジサイドで必要となる様々なコンピューティング機能を実現します。
- フルパッケージの Linux を搭載
OS には汎用の Debian GNU/Linux を採用しており、アプリケーションの実装が容易です。さまざまなアプリケーション実装の手間を削減し、スピーディーな IoT システムの構築が可能です。

利用シーン

- 各種センサーと上位ネットワークを中継する IoT ゲートウェイ
- エッジサイドで計算能力を提供するフォグ・コンピューティングや機械学習ノード
- 多数のセンサーをインターネットへつなぐ M2M/IoT ルーター

【IoTゲートウェイとしての利用イメージ】



製品価格・仕様

- 価格

名称：OpenBlocks® IoTファミリ BX1

型番：OBSBX1

参考価格：オープン

出荷開始時期：2015年2月 予定

- 仕様

CPU : インテル® Atom™ プロセッサー 500MHz (デュアルコア)

メインメモリ : 1GB (LPDDR3)

Flash ROM : 4GB (eMMC)

内蔵インターフェース:

3G(W-CDMA) *NTTドコモ FOMA網に対応予定

Bluetooth 4.0

Wi-Fi (IEEE802.11a/b/g/n)

外部インターフェース:

USB 2.0 (Type-A) ケーブル

筐体サイズ : 41.6mm (W) x 96mm (D) x 11.3mm (H) (突起部含まず)

電源 : DC 5~48V

搭載OS : Debian GNU/Linux

関連URL

http://openblocks.plathome.co.jp/products/obs_a/bx1/

インテル社からのエンドースメント

インテル株式会社 常務執行役員 ビジネスデベロップメント 平野 浩介

「OpenBlocks® IoTファミリの発表、おめでとうございます。小型で低消費電力のインテル® Atom™ プロセッサー・ベースのSoCの搭載とぷらっとホーム様のマイクロサーバーにおける優れた技術、ノウハウが、小型IoTゲートウェイの製品化を可能にしました。インテルは、ぷらっとホーム様のOpenBlocks® IoTファミリの登場により、IoT市場がますます盛り上がりを見せると期待しております」

ぷらっとホームについて

ぷらっとホームはマイクロサーバーの開発製造大手です。1993年の創業よりLinuxサーバーのパイオニアとして、通信やネットワーク分野に自社製コンピュータを供給してきました。手のひらサイズの超小型Linuxサーバー「OpenBlocks®」は、大手通信事業者をはじめ、物流、輸送、金融、エネルギー産業、官公庁など日本の社会インフラを支える様々な領域で採用されており、今後大きく成長すると見込まれるM2MやIoT(Internet of Things: モノのインターネット)でも大きな注目を集めています。

本発表に関するお問合せ先

- 報道機関からのお問合せ先：

ぷらっとホーム株式会社 製品マーケティング部 星 賢志（ほし けんじ）

pr@plathome.co.jp

Tel 03-5213-4373／Fax 03-3221-0882

- ユーザー向けのお問合せ先：

ぷらっとホーム株式会社 営業部 竹内 敬呂（たけうち よしろ）

sales@plathome.co.jp

Tel 03-5213-4370 / Fax 03-3221-3766

* 外観・仕様・価格等は予告なく変更する場合があります。

* プらっとホームおよびPlat'Homeの名称・ロゴは、日本国及びその他の国における、ぷらっとホーム株式会社の登録商標または商標です。

* Intel、インテル、インテル Atomは、アメリカ合衆国および / またはその他の国におけるIntel Corporationの商標です。

* その他、本プレスリリースに記載されている会社名および商品・サービス名は、各社の登録商標または商標です。